

第43回原産年次大会の開催について

平成22年3月16日

日本原子力産業協会は、4月に島根県松江市で「第43回原産年次大会」を下記のとおり開催いたします。

記

1. **会 期**：平成22年4月20日(火)～22日(木)
2. **会 場**：くにびきメッセ
〒690-0826 島根県松江市学園南1-2-1
TEL 0852-24-1111
URL <http://www.kunibikimesse.jp/>
3. **基調テーマ**：「エネルギー供給と温暖化対策の担い手として
——原子力の将来を考える」
4. **構成と内容**：添付プログラムをご参照ください（大会当日まで変更が生じる可能性がございます）。
最新情報は当協会ホームページ (<http://www.jaif.or.jp/>) に
随時掲載しております。
5. **募集枠および参加費**：
①有料枠（一般企業・原子力関係企業等の役職員等）48,000円 他
②無料枠（教職員、学生、農漁業関係者、個人商店経営者、主婦等）
6. **添付資料**：①第43回原産年次大会 開催案内
②第43回原産年次大会 セッション内容（案）
③第43回原産年次大会の取材について
④第43回原産年次大会 プレス事前登録申込書
7. **本資料配布先**：（順不同）
島根県政治記者会 松江市政クラブ
文部科学省 科学記者会・文部科学記者会、
経済産業省 ペンクラブ・経済産業記者会（経済部・社会部）
エネルギー記者会、外国人記者クラブ

8. 原産年次大会とは：

原産年次大会は、日本原子力産業協会がその主要事業のひとつとして昭和43年以来開催している国際会議で、毎年国内外から約千名の参加を得ております。本大会は、エネルギー・原子力の平和利用上の重要な問題について、国内外の専門家を中心とする意見の発表、重要課題とその解決策を見出すための討論を行うとともに、原子力研究開発利用の進め方について国民の理解促進に資することを目的としております。また平成6年以来、本大会をより開かれたものとするため、原子力関係者だけでなく、広く一般市民の方々にも積極的に参加を呼びかけています。

第43回原産年次大会では、国際社会からよせられる安全規制や核不拡散の取り組みそして技術力に対する日本への評価と期待に応えつつ、原子力発電推進にむけた取り組みの強化につながるよう、わが国および産業界の課題について考える。さらに、島根県の方々と原子力関係者との信頼感の醸成と相互理解の促進に資する大会を目指します。

9. 社団法人 日本原子力産業協会について：

社団法人 日本原子力産業協会（会長：今井 敬）は、わが国のエネルギー問題における原子力利用の重要性を踏まえ、国民的立場に立って原子力の平和利用を進めるとの産業界の総意に基づき、政府が定める原子力政策の推進に協力し、原子力の平和利用を促進することによって、わが国の国民経済と福祉社会の健全な発展向上に資することを目的とする公益法人で、470を超える会員で構成されている民間団体です。

なお当協会は、1956年以来活動を行ってきた社団法人 日本原子力産業会議が創立50周年を迎えたことを機に改組し、2006年4月に新たに発足したものです。

——< 本件お問い合わせ先 >——



(社)日本原子力産業協会 年次大会報道班 津田、門間、喜多
〒105-8605 東京都港区新橋2-1-3 ヒューリック新橋ビル5F
tel：03（6812）7126（津田）
03（6812）7172（門間）
03（6812）7123（喜多）
fax：03（6812）7110
e-mail：tsuda@jaif.or.jp（津田）、a-kadoma@jaif.or.jp（門間）
kita@jaif.or.jp（喜多）
当協会HP <http://www.jaif.or.jp/>

以上



第43回原産年次大会

平成22年4月20日(火)～22日(木)、島根県松江市「くにびきメッセ」

エネルギー供給と温暖化対策の担い手として——原子力の将来を考える

原子力をめぐっては、エネルギー安全保障と気候変動問題の解決手段としての評価が世界的に高まり、原子力利用への関心を示す国が増大している。これを受け、2009年7月に開催された第35回主要国首脳会議（G8サミット）において「核不拡散、原子力安全及び核セキュリティに関する最高の基準を促進する上でIAEAが果たす重要な役割を強調する。原子力エネルギーの民生利用に関心を有するすべての国に対し、建設的な国際協力に参与するよう呼びかける」首脳宣言が採択されている。また、オバマ大統領による核兵器廃絶にむけた演説をきっかけとした核不拡散に向けた世界的な機運の高まりとともに、天野之弥氏のIAEA事務局長就任から、保障措置および原子力平和利用における日本の国際的な役割が一層高まることが予想されている。

一方、わが国においては、2008年の低炭素社会づくり行動計画、2009年6月の麻生総理による地球温暖化対策中期目標発表などを受け、原子力発電の活用なくしてはこれらへの対応はおよそ不可能であるとの認識のもと、2020年時点で原子力発電比率を約40%程度とすることが必要として、2009年6月に「原子力発電推進強化策」が経済産業省によりとりまとめられている。その後、民主党政権の誕生により、9月には鳩山総理による温室効果ガス削減目標（2020年までに1990年比25%削減）が発表された。

このような状況のなか、当協会は、第43回原産年次大会を中国電力株式会社の島根原子力発電所3号機の建設が進む松江市で2010年4月に開催する。世界的な原子力ルネッサンスの潮流のなか、国際社会からよせられる日本の原子力平和利用に関する評価と期待に応えつつ、原子力発電推進の強化に向け、わが国および産業界の課題について考えるとともに、島根県の方々と原子力関係者との信頼感の醸成と相互理解の促進に資する大会を目指す。

第43回原産年次大会プログラム

4月20日(火)	4月21日(水)	4月22日(木)
テクニカルツアー 中国電力(株) 島根原子力発電所 など見学 受付(17:00～)	受付(8:45～)	受付(9:00～)
	開会セッション (9:30-10:30)	セッション2 (9:30-12:30) 原子力ルネッサンスの実現 に向けて—各国の原子力・ エネルギー政策と展望
	特別講演 (10:30-12:30)	
	昼食	昼食
	特別イベント：佐陀神能 (13:10-13:50)	特別イベント：石見神楽 (13:00-13:30)
	セッション1 (14:00-17:00) 気候変動問題解決の切り札 として、原子力をどう位置づ けるか	セッション3 (13:40-17:00) 原子力発電所のある町で、私 たちは考える—島根県の原 子力、40年とこれから
ウェルカム・レセプション (17:30-19:00)		

* 最新の大会内容は、当協会ホームページにて随時更新いたします。



社団法人日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区新橋2-1-3 新橋富士ビル5F

TEL 03(6812)7101 e-mail 43rd-annual@jaif.or.jp

http://www.jaif.or.jp/

第43回原産年次大会 セッション内容（案）

基調テーマ：エネルギー供給と温暖化対策の担い手として —— 原子力の将来を考える

開会セッション 4月21日(水) 9:30~10:30

◆原産協会会長所信表明

今井 敬 (社)日本原子力産業協会 会長

◆島根県知事挨拶

溝口 善兵衛 島根県知事

◆松江市長挨拶

松浦 正敬 松江市長

特別講演 4月21日(水) 10:30~12:30

天野 之弥 国際原子力機関(IAEA) 事務局長
「グローバル・イシューの解決に取り組む IAEA」

リチャード ジョーンズ 国際エネルギー機関(IEA) 事務局次長
「グリーン成長に向けたクリーンエネルギー技術の展開」

ベルナール ビゴ フランス原子力庁(CEA) 長官
「フランスの原子力政策と燃料サイクルの確立」

ウォーレン ミラー 米国エネルギー省(DOE) 原子力担当次官補
「オバマ政権の原子力政策」

特別イベント：佐陀神能 4月21日(水) 13:10~13:50

佐陀神能は、出雲國三大社のひとつとして称えられた佐太神社の祭事「御座替祭」にあわせて執り行われる神事舞の総称。古式ゆかしい神話の舞を笛や太鼓に合わせて演じるもので、出雲流神楽の源流とされ、全国各地に伝わる里神楽に大きな影響を与えたといわれている。島根原子力発電所が立地する松江市鹿島町に伝わる国の重要無形民俗文化財であり、ユネスコの世界無形文化遺産への登録が予定されている。

セッション1 4月21日(水) 14:00~17:00

気候変動問題解決の切り札として、原子力をどう位置づけるか

政権交代により誕生した民主党政権は、温室効果ガスを2020年までに1990年比25%削減という中期目標を掲げているが、具体策は明確化されていない。既に、原子力発電は二酸化炭素排出量の削減に大きく貢献しており、その有効活用(既設炉の高度利用、新增設)なくしては、削減目標の達成は不可能といえる。

ここでは、世界的な気候変動問題に関する状況をお話しいただいた上で、わが国のエネルギー・原子力政策はどうあるべきか、気候変動問題の解決にむけて原子力をどう位置づけるべきかを考える。

◆**議長**： 鳥井 弘之 元 日本経済新聞社論説委員

◆**基調講演**：

フランチ=ミカエル スキョル メルビン 駐日デンマーク大使
「エコカントリー・デンマーク —— 行動する大使からの提言」

◆**パネル討論**：

秋元 圭吾 (財)地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー
鈴木 達治郎 原子力委員会 委員長代理
東嶋 和子 科学ジャーナリスト

セッション2 4月22日(木) 9:30~12:30

原子カルネッサンスの実現に向けて —— 各国の原子力・エネルギー政策と展望

気候変動とエネルギー安全保障問題の解決手段としての原子力に対する評価が世界的に高まり、一時原子力開発にブレーキをかけていた国々による原子力利用への復帰や、新規に原子力発電の導入を計画する国々が増加している。このような「原子カルネッサンス」と呼ばれる動きを現実のものとするためには、燃料供給、使用済燃料や廃棄物の処理処分、3S（保障措置、原子力安全、核セキュリティ）に対して世界的規模で対応することが必要であり、人材確保・育成や規制の透明性が重要である。

ここでは、各国より自国の原子力・エネルギー政策を紹介いただき、原子カルネッサンスの実現に向けて取り組むべき課題とその解決策について考える。

◆**議長**： 服部 拓也 （社）日本原子力産業協会 理事長、
一般財団法人 原子力国際協力センター 理事長

◆**講演**：

ファム カイン トアン ベトナム商工省 エネルギー研究所 所長
「実現へと動き出したベトナムの原子力発電導入計画」

ヤン チー 中国核能行業協会 副理事長
「躍進する中国の原子力発電開発戦略」

ジャンカルロ アクィランティ イタリア電力(ENEL)原子力技術担当マネージャー
(依頼中)

「原子力回帰、脱原子力から20年目の挑戦」

スリクマール バネルジー インド原子力委員会 委員長 (依頼中)
「インドの持続的成長と原子力開発の意義」

———— ロシア ロシアトム (依頼中)
「ロシアの原子力産業とグローバル展開」

———— 韓国水力原子力 (依頼中)
「韓国の原子力産業 —— 最新動向と将来展望」

特別イベント：石見神楽 4月22日(水) 13:00~13:30

石見神楽は、往時、神の御心を和ませるといふ神職による神事であったものが明治初期から土地の人々のものになり、民族芸能として演舞されるようになった。そのリズムは、他に類を見ない勇壮にして活発な八調子と呼ばれるテンポの早いもので、大太鼓、小太鼓、手拍子、笛を用いての囃子で演じられ、見る人を神話の世界に誘う。例祭への奉納はもとより、各種の祭事、祝事の場に欠かすことのできないものとなっており、島根県の広く誇れる郷土芸能である。

セッション3

4月22日(木) 13:40~17:00

原子力発電所のある町で、私たちは考える —— 島根県の原子力、40年とこれから

島根県では、1970（昭和45）年の島根原子力発電所1号機の着工から40年が経ち、現在、2011（平成23）年の営業運転開始に向けて3号機の建設が進められている。原子力発電所とともに過ごしてきた島根県は、中国地域の電力供給を担う誇りと同時に原子力をめぐる課題を抱えてきた。

このセッションでは、市民も含めた関係者等の目を通して、幅広い角度から「原子力発電所と立地地域の共生・共益」等を考えつつ、原子力発電を推進する上での社会とのコミュニケーションや合意形成のあり方について問題提起・意見交換を行い、課題解決策を探る。

◆ファシリテータ :

八木 絵香 大阪大学 コミュニケーションデザインセンター 特任講師

◆基調講演 :

ヒルデガルト コルネリウス=ガウス ドイツ・ヘッセン州ビブリス町長
「不明確なドイツの原子力政策とビブリスへの影響」

◆パネル討論 :

井川 陽次郎	読売新聞 論説委員
石原 孝子	松江エネルギー研究会 代表
大谷 厚郎	松江商工会議所 副会頭
山名 元	京都大学 原子炉実験所 原子力基礎工学研究部門 教授
山本 廣基	島根大学 学長

以 上

第43回原産年次大会の取材について

1. 大会参加申し込み

参加申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みくださいますようお願いいたします。

大会当日、会場受付にて、お名刺のご提出をお願いいたします。その際、プレス用のネームカードと大会関係資料をお渡しいたしますので、会場内ではネームカードをご着用願います。

※ 当日登録も可能ですが、できる限り事前登録をお願いいたします。

2. プレスルームの開設

本大会開催中、「プレスルーム」を開設いたします。講演者の発表資料等はプレスルームにて配布いたします。

3. 講演者等への取材

講演者等への個別取材あるいは共同記者会見のご希望がありましたら、担当へご連絡ください。可能な限り仲介し調整いたします（通訳の手配を希望される方は、あわせてご連絡ください。通訳手配料@5,000/30分）。

以上